

# 公募説明会資料

ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査

---

令和5年5月16日

- 1. ロングストーリーツアーの概要**
- 2. 事業のスケジュールについて**
- 3. 申請様式について**
- 4. 公募要領について**

# 1. ロングストーリーツアーの概要

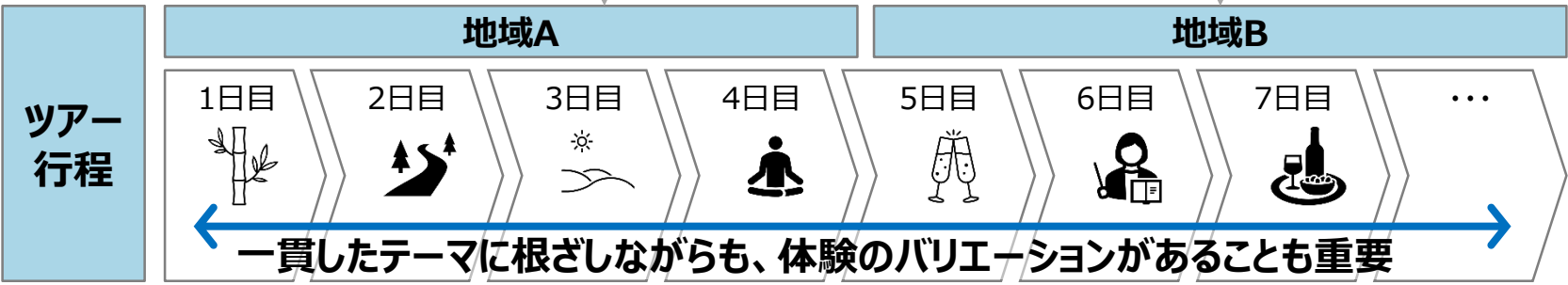
# ロングストーリーツアーとは

ロングストーリーツアーとは、1週間以上にわたり、一つのテーマ・魅力的なコンセプトのもと、単に同一のテーマに紐づく体験を散りばめたものではなく、旅行者が旅を通じて一貫したストーリーを体感できるツアーと考える。

【ロングストーリーツアー】 = 【ロング：1週間以上の】 + 【ストーリーツアー：旅を通じて一貫したストーリーを体感できるツアー】

**テーマ (What)** 旅のテーマであり、「何に関するツアーなのか？」という問いへの答えとなるもの。  
(何のツアーか？ = What)

**コンセプト (How, Purpose)** テーマの切り口であり、「どう楽しみながら」、「何を体感させる事を目的としたツアーなのか？」という問いへの答えとなるもの。(楽しみ方 = How, 目的 = Purpose)



スルーガイド

**ストーリー**  
旅の体験を通じて理解する、テーマやそれを生み出した地域の自然・歴史・文化の成り立ちなどの物語や、それらを通じて価値観や物の見方に変化を与えるようなメッセージを含んだもの。

ロングストーリーツアーには、行程全体に寄り添うスルーガイドが介在し、**旅行客のニーズや興味領域を把握**したうえで、可能な限り**行程やガイドング等の調整**を行い、**旅の楽しさを高める**と同時に、ツアーの**体験を通じてストーリーを感じる**ことの手助けを行う。

# ロングストーリーツアーの国内造成事例

株式会社デネブによる「DISCOVER JOMON 函館1万年の道のり」というツアーでは、日本の縄文文化をテーマとしながら、その中でも定住文化の始まりでもあるこの文化を通じて現代の都市文化を見つめ直すことをコンセプトとしている。これらを利用してツアー参加者にスルーガイドはストーリーを伝えていく。

## 例：(株)デネブによる「DISCOVER JOMON 函館1万年の道のり」ツアー

**テーマ** 世界遺産に登録された「縄文」文化

**コンセプト** 縄文文化に関する体験を通じて、現代の都市文化との違いを学ぶ

### ツアー行程 (一部)

	大船遺跡を見学		垣ノ島遺跡を見学		函館市縄文文化センター ... を見学
	専門山岳ガイドによる、活火山でのハイキング		渡島半島を探索		函館の街を散策 ...

### スルーガイド

**ストーリー** 移動による暮らしが基本だった人類は、縄文時代から定住するようになった。だが、定住の極みである都市文化は限界を迎えている。移動から定住に代わったことで得られるメリットとデメリットを感じながら、**縄文に学び、未来を考えてみよう。**

### ツアー紹介文 (HPより)

なぜ今、「縄文」が世界遺産に登録されたのでしょうか。縄文の基本は定住にあり、私たちも定住により暮らしています。しかし、私たち人類(ホモ・サピエンス)の歴史は、ほとんどが移動による暮らしでした。定住は縄文時代に始まったばかりですが、その定住の極みである都市文明はもう悲鳴をあげています。移動から定住に代わったことで得られるメリットとデメリット。私たちは、縄文から何を学べるのでしょうか。

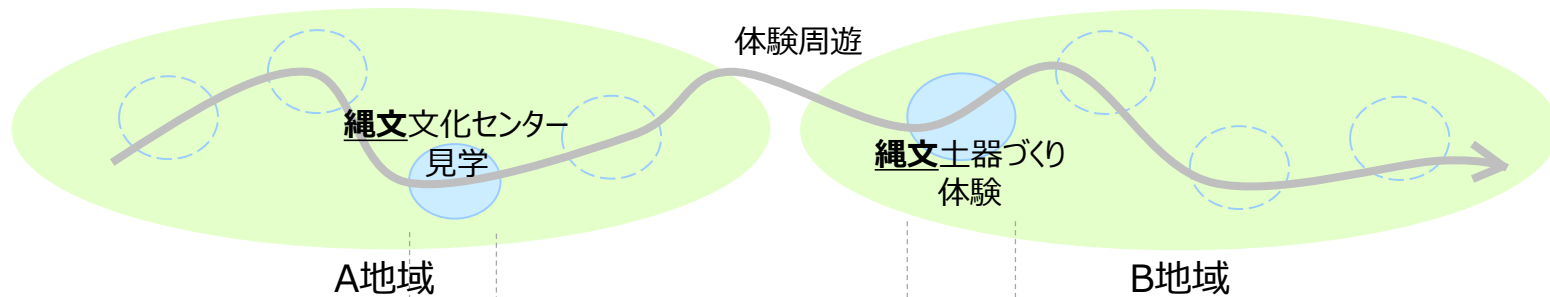
- ◆ 家族の在り方
- ◆ 地域の在り方
- ◆ 多様性
- ◆ 利他的思想
- ◆ 自然との向き合い方と感謝の心 など

まだ知られざる縄文の文化、私たちのルーツに触れる特別な旅のプランをご提供いたします。

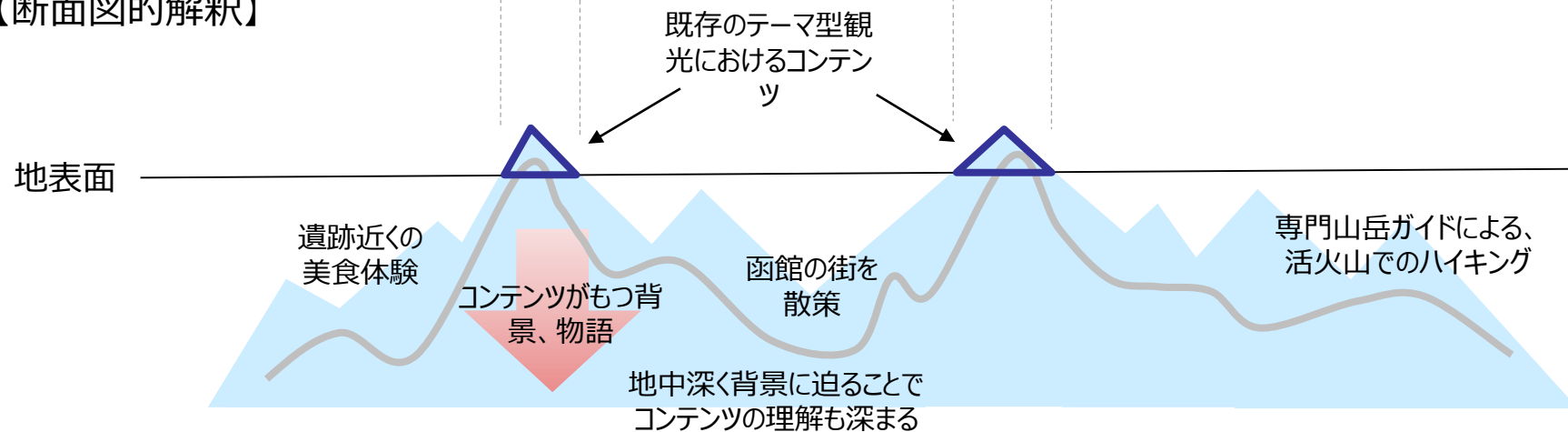
# ロングストーリーツアーにおけるテーマとコンテンツの関係性

## 【平面図的解釈】

テーマ例：縄文



## 【断面図的解釈】



表面的な共通項をもつ各地域のコンテンツのみを巡るものではなく、コンテンツのもつ背景等に深く入り込み、根っこでつながるものを含め、一貫した物語性をもって学び、発見を得るようなロングな旅。

# (参考)テーマ型観光とロングストーリーツアーの違い

テーマ型観光はテーマに合致したコンテンツが並列に散りばめられている一方で、ロングストーリーツアーは参加者がストーリーを感じられることをゴールにコンテンツを設計されている点が一番の違いである。そのため、ロングストーリーツアーにおけるターゲットは、任意のテーマのファン層ではなく、テーマを通じてストーリーを感じることや、旅先の自然・文化などが持つその本質に迫ることに関心がある層をターゲットにしている。

	テーマ型観光	ロングストーリーツアー
旅の目的・動機 (売り手視点での訴求)	テーマがツアー参加にする上での 主な動機・目的	テーマはあくまでツアーの軸であり、それ を通して物事の本質に迫ることが目的
テーマが「縄文」の場合の比較例		
テーマ例	世界遺産に登録された「縄文」文化	
ストーリー例	- (特に設計はなし)	移動による暮らしから定住に代わった縄文時 代から学び、限界を迎えつつある都市文化を 見直す。
ツアーコンテンツの 例	〇〇縄文文化センターを訪問	
	××縄文遺跡を見学	
	縄文土器づくり体験	縄文遺跡が発見された〇〇エリアをハイキング
	考古学者によるトークイベント参加	縄文遺跡が多く発見された××街の美食体験
	あくまでテーマを色濃く感じられる体験を継続し て楽しむツアー行程	一見するとテーマから離れた体験にみえるような ものも含めて、バリエーション豊かに様々な角 度からテーマに触れていくツアー行程

ロングストーリーツアーでは、ストーリーを感じ、それを通じて自らの価値観や人生観を振り返ることこそが旅の目的であり、テーマはそのきっかけを与えてくれる手段である。

## 2.事業のスケジュールについて



# 事業全体スケジュール

応募から精算までのスケジュールは以下の通りである。



※先進事例調査の情報提供を踏まえ、6月14日に公募にかかる質問会 (web) を開催いたします。  
 ※採択事業決定日より前の発注・契約・支出行為は補助対象外となりますのでご注意ください。

# 先進地事例調査と質問会について

## 先進地事例調査

- 5月下旬～6月上旬にかけて、有識者、事務局、観光庁において先進地事例調査（ヨルダントレイル）を実施します。
- 調査の中では「Jordan Tourism Board」との意見交換等を予定しており、調査結果について6月上旬にホームページにて公表を予定しております。

### Abraham Path

(ヨルダン/レバノン/パレスチナ/エジプト/トルコ)



### 【ツアーコンセプト】

地元民によるガイドで、伝統や建築、食文化など中等のあらゆる側面を学びながらハイキングやサイクリングをするコンセプト

## 質問会

- 先進地事例調査の調査結果公表後に調査結果や、公募申請に関する質問会を開催いたします。（6月14日を予定）
- web会議での開催を予定しております。
- 質問会への参加申し込み方法は後日ホームページにて連絡いたします。

# 2次審査(ヒアリング)の実施について

本事業は、書類審査（1次審査）を通過した実証事業について、ヒアリング審査（2次審査）を実施し、1次、2次審査の結果を総合的に加味して採択事業を選定します。

- 2次審査は7月25日を予定しています。
- 2次審査の対象となるプロジェクトチームへは、7月中旬頃にヒアリングへの参加依頼の連絡をいたします。
- ヒアリングは対面とwebのハイブリッド方式での開催を予定しております。
- ヒアリングには、以下の方の参加をお願いします。
  - ・各プロジェクトチームの関係者（人数は任意ですが、対面の場合は会場の都合上、人数を制限させていただく場合があります。）
  - ・スルーガイド（2名）

## 審査方法

### 書類審査（1次審査）

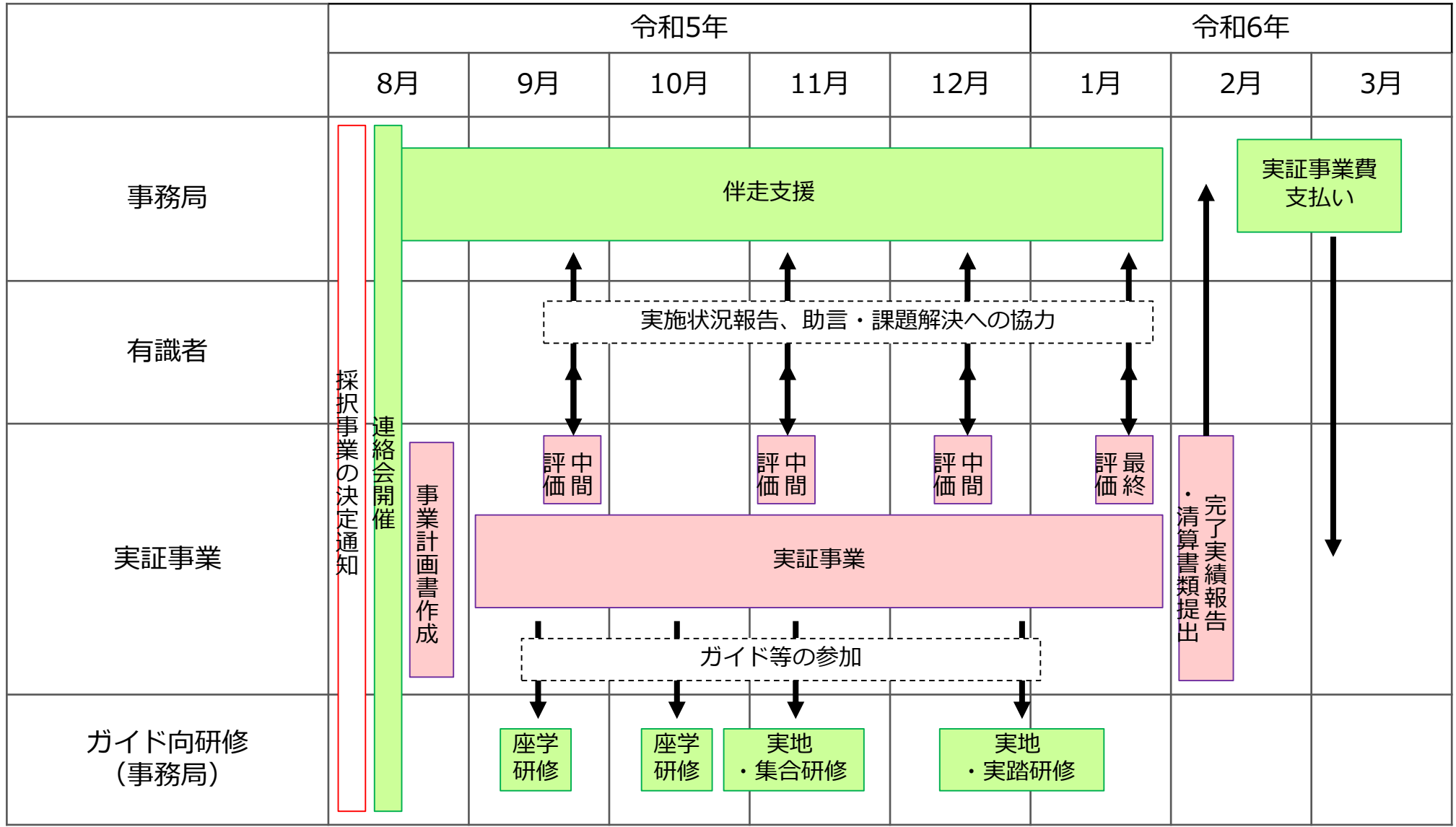
申請書類に対する、一定の基準に基づいての評価

### ヒアリング審査（2次審査）

1次審査を通過した実証事業について、ヒアリングによる審査を実施し評価

1次審査、2次審査の結果を総合的に加味して採択事業を決定。

# 実証事業の進め方



【凡例】  
 : プロジェクトチーム   
 : 事務局

# 採択後の伴走支援・ガイド研修

造成するロングストーリーツアーについて、継続的かつ事業性がある商品となるように、採択されたプロジェクトチームに対して以下の伴走支援（①、②）及びガイド研修（③）を実施予定。

## ①実証事業の実施状況についての評価及び課題抽出

- a) 事業着手時に申請書、審査結果等を主に、各プロジェクトチーム（以下、「チーム」とする。）毎の課題や事業実施において重視すべき事項を洗い出しを実施します。
- b) 各中間評価の際にa)で定めた課題解決の状況や事業の進捗について、達成状況の評価を実施すると共に、状況に応じて新たな課題について抽出を行います。

## ②実証事業の実施における課題解決への助言等

- a) ①において抽出した課題に対して、解決の方針策定や具体的な方法について、助言・協力いたします。なお、助言にあたっては各チームの実情が反映されるよう適宜ヒアリング等を実施いたします。
- b) 「課題解決の方法」の助言・協力として、有識者等へのヒアリング、ロングストーリーツアー造成に向けて必要な要素に精通した専門家の助言（例：アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等の専門家）、地域内体制のサポート、販路整備支援、等を想定しており、課題の内容に合わせてご提案いたします。

## ③ガイド研修の実施

- a) ロングストーリーツアーの中心となる「スルーガイド」の方を主な対象として、座学2回、実地2回の計4回の研修を予定しております。
- b) 実地研修の内1回は、チーム毎に、造成したロングストーリーツアーを元に現地にて実施し、各チームの実施状況に合わせて専門家等から助言をいただく予定としております。

### 3. 申請書式について



# 「公募申請フォーム」記載時の注意点

本事業の申請様式「公募申請フォーム」の記載にあたっては、青字の説明内容に従って記載すべき事項を理解した上でご記載ください。

## 本事業の申請様式（※一部抜粋）

## 記載時の注意事項

### ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－2



ツアー名	※ツアー名を記載してください。例)「DISCOVER JOMON 函館1万年の道のり」 地域名などは「実施エリア概要」に記載し、テーマ、コンセプトが伝わることを意識してご記載ください。(40文字以内)
テーマ	※ツアーの主題となるテーマを記載ください。例)世界遺産に登録された「縄文」文化
ツアーコンセプト	※ツアーの主題となるテーマの切り口(味わい方)を記載してください。 例)縄文文化を通じて現代の都市文化を見つめ直す
ツアーを通じて伝えたいストーリー	※今回造成するロングストーリーツアーの体験を通じて、旅行者が会うことができる新しい価値観との出会いの流れや、旅を通じて深めること ができる視点などについてご記載ください。  例)なぜ今、「縄文」が世界遺産に登録されたのでしょうか。縄文の基本は定住にあり、私たちが定住により暮らしています。しかし、私たち人類 (ホモ・サピエンス)の歴史は、ほとんどが移動による暮らしでした。定住は縄文時代に始まったばかりですが、その定住の極みである都市文明 はもう悲鳴をあげています。移動から定住に代わったことで得られるメリットとデメリット。私たちは、縄文から何を学べるでしょうか。 ◆ 家族の在り方 ◆ 地域の在り方 ◆ 多様性 ◆ 利他的思想 ◆ 自然との向き合い方と感謝の心 など、まだ知られざる縄文の文化、 私たちのルーツに触れる特別な旅のプランをご提供いたします。
ターゲット顧客	【ターゲット顧客】 ※ターゲットとする顧客層を記載ください。 【ターゲット設定理由】 ※そのターゲット顧客層を設定した理由や、設定したターゲット顧客層がふさわしいと考える理由などを、これまでに実施した調査や 分析などを踏まえてご記載ください。  ※設定したターゲット顧客層に対して、ツアーの中で体験してもらう要素に☑をつけてください <input type="checkbox"/> 人生観を変える体験 <input type="checkbox"/> その土地の真髄に迫る体験 <input type="checkbox"/> 幅広い体験を通じた発見・理解 <input type="checkbox"/> 挑戦的な体験 <input type="checkbox"/> 非日常性を感じられる環境 <input type="checkbox"/> その土地らしさを感じる宿泊・食

各様式の記載項目について、青字で記載している記載事項の説明をよく読み、記載すべき事項を理解した上でご記載ください。

青字で記載している説明書きについては削除のうえ、申請にあたっての内容をご記載ください。

文字サイズは12ポイントを基準に、原則として各記載枠のサイズは変更せずにご記載ください。一部注釈などはそれ未満の文字で記載しても構いません。

黒字で書いている記載項目内の小項目の見出しは削除せずにご記載ください。



# 公募申請フォームの各様式について

<b>テーマ</b>	※ツアーの主題となるテーマを記載ください。	(プロジェクトチーム名)
<b>ツアーコンセプト</b>	※ツアーの主題となるテーマの切り口（味わい方）を記載してください。	(代表者名)
<b>ツアーを通じて伝えたいストーリー</b>	※今回造成するロングストーリーツアーの体験を通じて、旅行者が会うことができる新しい価値観との出会いの流れや、旅を通じて深めることができる視点などについてご記載ください。	(実施エリア)
<b>ツアー概要</b>	※今回のツアーのテーマやコンセプト、行程内容などの要素を盛り込んだ、ツアー内容のサマリーをご記載ください。	※事業の内容が分かるイメージ図、写真等を貼付してください。 ※ページ数は増やさずにこの1枚のみで提出してください。
<b>ツアー造成・本事業申請の動機・思い</b>	※本事業を申請するにあたって、ロングストーリーツアー造成に向けた動機や思い、ツアー造成を通じて実現を目指していることなど、申請するプロジェクトチームとしてこの事業にかける想いを自由にご記載ください。また、造成を目指しているツアーの実現の裏付けとなるような、プロジェクトチーム構成員の実績やスキル・ノウハウ等、アピールする点があればご記載ください。（※適宜図やイラストなどを使いながらご記載ください）	
<b>事業実施による地域への期待効果</b>	※本事業実施による地域への社会・経済・環境等の観点での効果や、課題解決などの可能性などについて期待できる点があればご記載ください。	

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－1

記入者

所属：

担当者：

## ツアー造成・本事業申請の動機・思い

※本事業を申請するにあたって、ロングストーリーツアー造成に向けた動機や思い、ツアー造成を通じて実現を目指していることなど、申請するプロジェクトチームとしてこの事業にかける想いを自由にご記載ください。また、造成を目指しているツアーの実現の裏付けとなるような、プロジェクトチーム構成員の実績やスキル・ノウハウ等、アピールする点があればご記載ください。（※適宜図やイラストなどを使いながらご記載ください）

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式-2

**ツアー名** ※ツアー名を記載してください。例)「DISCOVER JOMON 函館1万年の道のり」  
 地域名などは「実施エリア概要」に記載し、テーマ、コンセプトが伝わることを意識してご記載ください。(40文字以内)

**テーマ** ※ツアーの主題となるテーマを記載ください。例) 世界遺産に登録された「縄文」文化

**ツアーコンセプト** ※ツアーの主題となるテーマの切り口(味わい方)を記載してください。  
 例) 縄文文化を通じて現代の都市文化を見つめ直す

**ツアーを通じて伝えたいストーリー** ※今回造成するロングストーリーツアーの体験を通じて、旅行者が会うことができる新しい価値観との出会いの流れや、旅を通じて深めることができる視点などについてご記載ください。

例) なぜ今、「縄文」が世界遺産に登録されたのでしょうか。縄文の基本は定住にあり、私たちも定住により暮らしています。しかし、私たち人類(ホモ・サピエンス)の歴史は、ほとんどが移動による暮らしでした。定住は縄文時代に始まったばかりですが、その定住の極みである都市文明はもう悲鳴をあげています。移動から定住に代わったことで得られるメリットとデメリット。私たちは、縄文から何を学べるのでしょうか。  
 ◆ 家族の在り方 ◆ 地域の在り方 ◆ 多様性 ◆ 利他的思想 ◆ 自然との向き合い方と感謝の心 など、まだ知られざる縄文の文化、私たちのルーツに触れる特別な旅のプランをご提供いたします。

**ターゲット顧客** 【ターゲット顧客】  
 ※ターゲットとする顧客層を記載ください。  
 【ターゲット設定理由】  
 ※そのターゲット顧客層を設定した理由や、設定したターゲット顧客層がふさわしいと考える理由などを、これまでに実施した調査や分析などを踏まえてご記載ください。

※設定したターゲット顧客層に対して、ツアーの中で体験してもらいたい要素に☑をつけてください

<input type="checkbox"/> 人生観を変える体験	<input type="checkbox"/> その土地の真髄に迫る体験	<input type="checkbox"/> 幅広い体験を通じた発見・理解
<input type="checkbox"/> 挑戦的な体験	<input type="checkbox"/> 非日常性を感じられる環境	<input type="checkbox"/> その土地らしさを感じる宿泊・食

# (参考) ロングストーリーツアー造成の目的から導かれる想定顧客像

長期滞在及び地方誘客を目指すロングストーリーツアーと親和性が高い顧客属性は、「欧米豪など、時間的・経済的な余裕のある、新しい価値観をもつ層」と考えられる。

## 魅力的なロングストーリーツアーの造成

長期滞在  
(消費額増加)

地方誘客

親和性が高い  
顧客属性

時間的・経済的な余裕

日本への1週間以上の滞在ができる休暇取得と経済的な余裕があること※

新しい価値観

日本の地方の自然や文化など、本物の自然・文化を旅を通じて深く関わり合い知ることを求める価値観を有していること

- ✓ 欧米豪など、時間的・経済的な余裕のある、新しい価値観をもつ顧客層との親和性が高い
- ✓ 本事業では、これらを想定ターゲットとして、1週間以上の旅行を提供する商品を造成する想定。

(上記を参考に、JNTOの訪日インバウンド市場別情報を参照しつつ、実証事業毎に具体的なターゲット顧客を設定すること。)

JNTO訪日インバウンド市場別情報URL : <https://www.jnto.go.jp/statistics/market-info/>

※欧米豪諸国の訪日時の滞在期間が1週間以上の比率 (訪日外国人消費動向調査 2019年 年次報告書より)

ドイツ : 74.2% フランス : 83.5% イタリア : 78.2% スペイン : 84.2% 米国 : 66.6% カナダ : 73.3% 豪州 : 84.7%

# (参考) 新しい価値観をもつ顧客層が旅でもとめる体験価値

新しい価値観をもつ顧客層が求める体験価値の着眼点として、以下の6つの観点を整理した。

## 新しい価値観をもつ層が求める体験価値

### 人生観を変える体験

旅行を通じて、新しい価値観と出会ったり、視野が広がったり、自身の信念が変わったりする経験ができること

### その土地の真髄に迫る体験

訪れる地域の表面的な理解にとどまらず、その土地の人々の考え、文化、歴史その成り立ちなどについて体験を通じてその真髄を理解すること

### 挑戦的な体験

文化的・身体的などの観点で、自身のこれまでの常識や限界の範囲を超えることで、世界観が広がったり成長を感じられる体験

### 幅広い体験を通じた発見/理解

1つのアクティビティだけではなく、様々なコンテンツやアクティビティを通じてテーマを見ていくことで、多角的なアプローチで地域やテーマへの理解を深めること

### 非日常性を感じられる環境

普段の都市生活の場面からは離れた、旅行者にとって非日常的な空間で過ごすこと

### その土地らしさを感じる宿泊・食

ツアーとしての体験の一貫性があり、食や宿泊などを通じてその土地の真髄に迫る体験の視点が意識されていること

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－3

<b>ツアー名</b>	※ツアー名を記載してください。
<b>実施エリア 概要</b>	※行政区分単位で実施するエリアをご記載ください。 例) 函館市、余市町、小樽市、弘前市、青森市、中津川市、茅野市
<b>ツアー概要</b>	※今回のツアーのテーマやコンセプト、行程内容などの要素を盛り込んだ、ツアー内容のサマリーをご記載ください。
<b>ツアー設計 時の配慮点</b>	※ツアー設計時に以下の点について、留意している点があればご記載ください。  【体験価値向上に向けた工夫】  【環境負荷への配慮】  【顧客の多様性に合わせた工夫】  【旅行者マナー向上に向けた工夫】  【怪我や病気が生じた場合の対応】

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－3(別紙1)

<b>ツアー名</b>	※ツアー名を記載してください。
-------------	-----------------

ツアー行程		各行程を体験する意図					
<b>日目</b>	<p>※体験する具体的な旅程内容をご記載ください。書き方は自由で、想定しているツアー期間に応じてページをコピーしながらご記載ください。また、1日1枠を必ず使う必要もありませんので、例えば1-3日目までをまとめて1枠に記載するような形でも問題ありません。</p> <p>※初日には訪日時に使用する想定国際空港からの移動時間や、その後も大きく地域を移動する場合にはそれらの移動の時間も行程に含んでご記載ください。</p>	<p>※設定したテーマやコンセプト、ストーリーを意識したうえで、この旅程内容を選んだ理由や、この日にこの体験をする意図をご記載ください。</p>					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>主な移動手段</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>宿泊先</b></td> <td>※想定している宿泊先の候補をご記載ください。</td> </tr> </table>		<b>主な移動手段</b>		<b>宿泊先</b>	※想定している宿泊先の候補をご記載ください。	<p>※宿泊先の選定理由や意図などをご記載ください。</p>
	<b>主な移動手段</b>						
<b>宿泊先</b>	※想定している宿泊先の候補をご記載ください。						



<b>日目</b>	<p>行程のイメージができるような画像やイラスト・図などを適宜挿入してください→</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"> <p>※このページは旅程の長さに応じて、コピーしてお使いください。</p> </div>					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;"><b>主な移動手段</b></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>宿泊先</b></td> <td>※想定している宿泊先の候補をご記載ください。</td> </tr> </table>		<b>主な移動手段</b>		<b>宿泊先</b>	※想定している宿泊先の候補をご記載ください。	<p>※宿泊先の選定理由や意図などをご記載ください。</p>
	<b>主な移動手段</b>						
<b>宿泊先</b>	※想定している宿泊先の候補をご記載ください。						

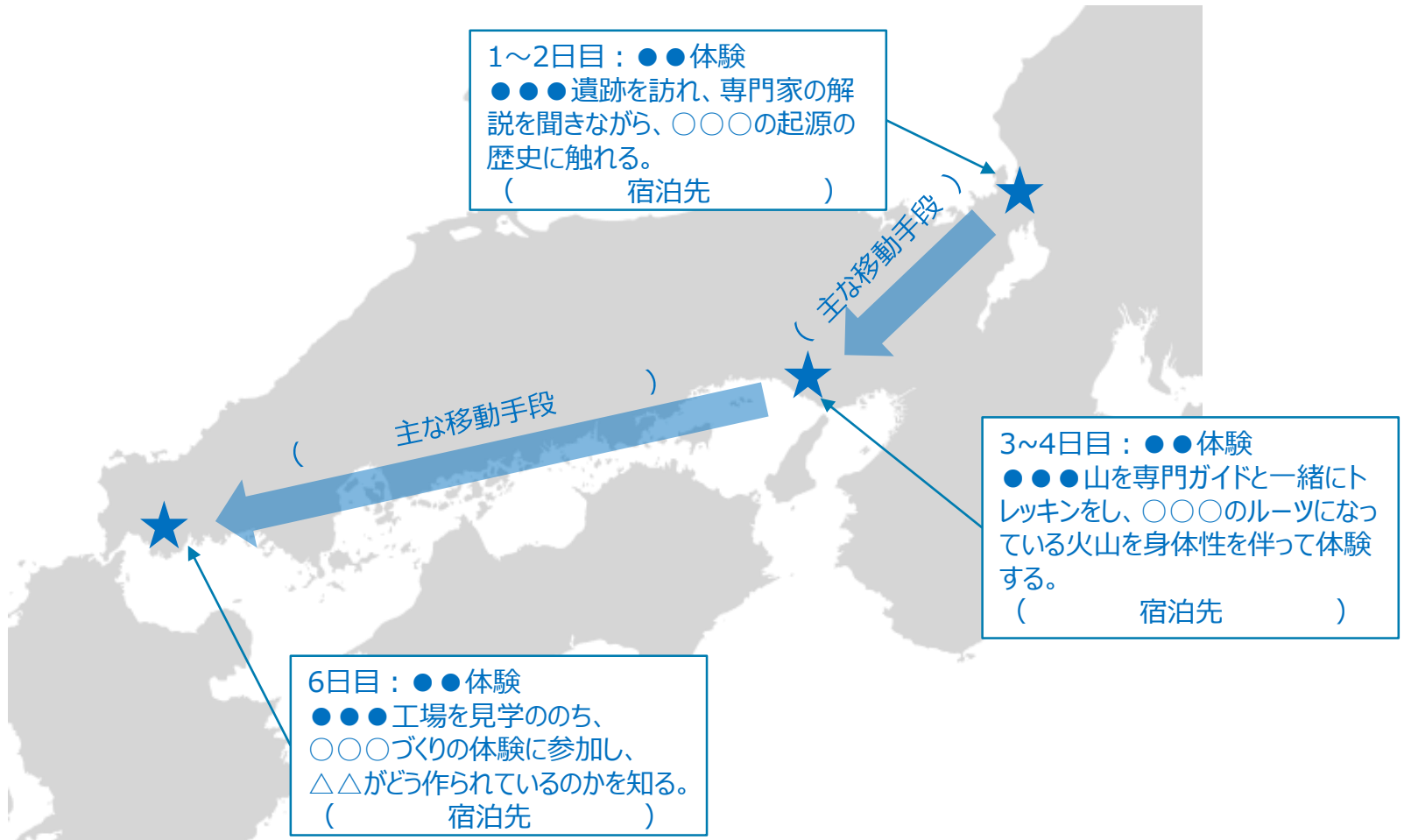




# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－3(別紙2)

ツアー名	※ツアー名を記載してください。
------	-----------------

※造成するツアーで訪問するエリアと、そこでの体験概要を記載してください。1枚に全行程を収めることが難しい場合には、本ページをコピーしてお使いください。



# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－４

<p><b>想定する販売体制</b></p>	<p>※上記のチャンネルでの販売にあたって、必要な業務を担っていく連携先の事業者や、プロジェクトチームの役割などについてご記載ください。</p>
<p><b>パンフレット・商品情報整備の方針</b></p>	<p>※想定する販売チャンネルでの販売に向けて、今後整備が必要となる情報や販売ツールの想定やその整備方針などについてご記載ください。</p>
<p><b>想定する販売チャンネル</b></p>	<p>※販売にあたって活用しようと考えているチャンネルをご記載ください。 例) 海外富裕層旅行博、OTA（具体的な案があればより具体的にご記載ください。</p>
<p><b>ツアー提供可能時期</b></p>	<p>※今回造成するツアーが販売（催行）が可能な期間ほどの程度なのかをご記載ください。 例) 7-9月、通年など</p>
<p><b>コンテンツの体験可能性</b></p>	<p>※ツアーの中心的なコンテンツを体験できる確率が極端に低くなく、ツアーを理想的な形で催行できる可能性が高いと考えられる理由や根拠をご記載ください。 例) ホエールウォッチングやオーロラなど、体験確率が極端に低いコンテンツを主としていないなど</p>

<p>スルーガイド担当者</p>
<p><b>【ガイド担当者】</b>                      ※顧客に対して全行程寄り添い、英語でガイドングを行うメインのガイド担当者名前・所属などをご記載ください。                      ※記載いただいた2名は2次審査のヒアリングとガイド研修に必ず参加していただきます。</p> <p><b>【英語能力】</b>                      ※ガイド担当者がネイティブレベルの英語でガイドングができることの裏付けとなるような英語利用経験や、英語レベルテスト等のスコアや検定などがあればご記載ください。</p> <p><b>【ガイド担当者選定理由】</b>                      ※ガイド担当者の経験や保有資格、ガイドする地域との関わりやテーマ、コンセプトに関する知見の有無など、ツアー全行程に寄り添うガイドとして相応しい理由をご記載ください。</p>

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－5

<b>プロジェクト チーム名</b>	※プロジェクトチームの名称をご記載ください。
<b>代表者名</b>	所属・役職： 指名：
<b>代表者 連絡先</b>	住所：〒 電話： eメール：

<b>運営体制の工夫</b>		<b>事業の継続性</b>	
<b>プロジェクト チーム内の 連携工夫</b>	※プロジェクトチーム内での連携をスムーズかつ効果的に行うための工夫があればご記載ください。	<b>事業終了後の 継続工夫</b>	※事業終了後にもツアーの磨き上げや販売・催行を継続していくことができる見込みがあるか、またその根拠となる稼働や財源確保の工夫があればご記載ください。
<b>地域との 合意形成</b>	※地域との合意形成が円滑に成される体制となっているか。また、効果的に地域と合意形成するための工夫があればご記載ください。		

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式－5(別紙)

## プロジェクトチームの構成員と体制

担当役割	団体・企業名	担当者
代表者	<団体・企業名>	<担当者氏名>
〇〇担当	<団体・企業名>	<担当者氏名>

※プロジェクトチームを構成する構成員の企業・団体の名称をご記載ください。(※プロジェクトチームの構成員として想定される企業・団体とは、地域行政・DMO等、DMC、旅行会社、コンテンツ事業者等、宿泊、物販、飲食関連等事業者ですが、それぞれ参画する構成員の主たる役割・体制をご記載ください。)

# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式-6

**【事業実施項目】**

・コンテンツ造成 ・モニターツアー

**【特に力をいれていきたい実施項目】**

例) コンテンツ造成：現状、旅行者が楽しみながらストーリーを感じ取れるコンテンツが不足しているため、コンテンツの造成に力を入れていきたい。  
 モニターツアー：ストーリーが旅行者に対して訴求力のあるものとなるよう、モニターツアーに力を入れ、外国者目線での意見を取り入れていきたい。

**事業スケジュール**

※スケジュールの現実性・実行可能性についての根拠や説明などがあればご記載ください。

2023年					2024年	
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

**マイルストーン**

事業キックオフ ★ 座学研修① ★ 座学研修② ★ 実地研修① ★ 実地研修② ★

例) ツアー骨子設計



※想定している実施事項等についてご記載ください。

例) 現地調査



〇〇

作業の大項目を記載する  
例) ツアー行程作成

作業の小項目を記載する  
例) ツアー行程案作成

〇〇



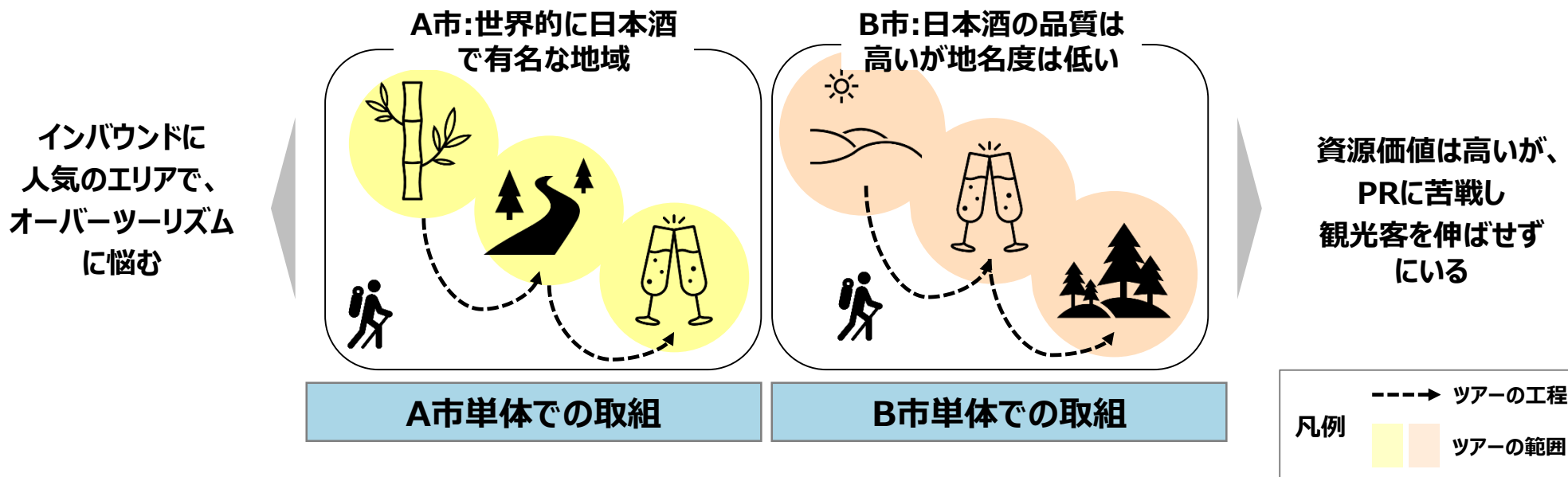
# (参考) ロングストーリーツアー造成において地域連携が望ましい理由

地域連携により、テーマを軸に複数地域を跨いだツアーを造成することで、これまでのツアー造成事業等と比べて、旅行者と地域側との双方にメリットを提供することができる。

地域連携でのロングのツアーを造成することで以下のメリットが享受できる。

1. 広く地域をまたぎ、長期滞在するツアー造成が可能になることで、ターゲットとしている旅行者のニーズを満たすことができる
2. 観光資源の相互補完を行い魅力的なコンテンツ造成が期待できる
3. 各地域を認知する機会を作る効果が期待出来る。
4. 幅広い体験ができることにより、ストーリーを深めることができる

## 地域連携による効果の一例



# ロングストーリーツアー造成事業 申請様式-8

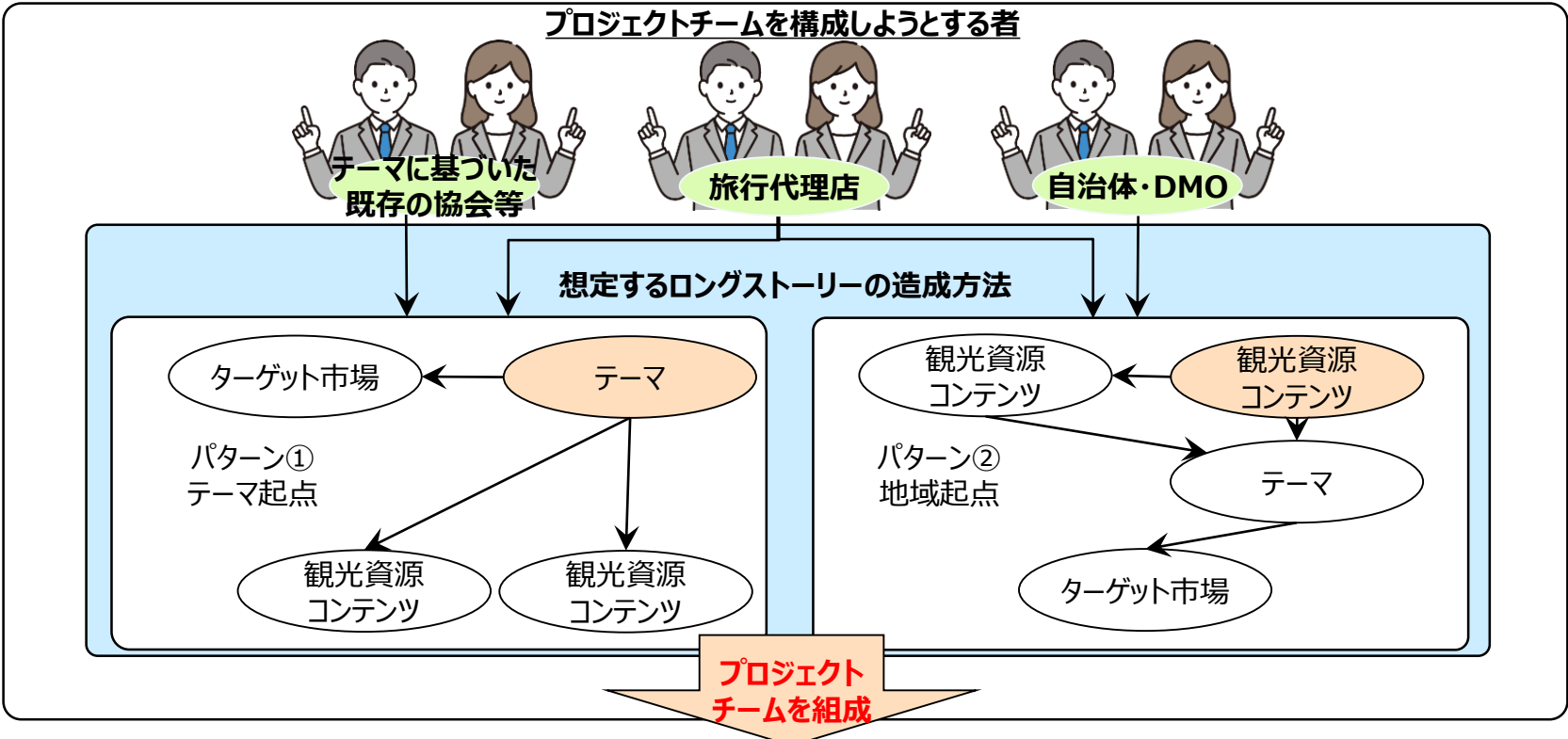
【申請様式8】									
ロングストーリーによる地域のコンテンツの連携促進に向けた実証調査									
※水色の枠に必要な事項を記入してください。									
事業名：									
(単位：千円)									
費目	事業内容 ※ブルダワンから選択	内訳 ※具体的な実施内容を記載	単価 (税抜)	数量	単位	金額 (千円) (総事業費)	対象経費 (千円) (国費)	対象経費 以外の経費 (千円) (自主財源等)	備考 ※再委託の場合は想定する 再委託先を記載
ア.謝金									
イ.賃金									
ウ.委託料									
エ.借料・損料・使用料									
オ.旅費									
カ.消耗品									
キ.雑役務費									
ク.レンタルやリースでは対応できない必要物品の作成・購入費									
合計 (税抜)						千円	千円	千円	
消費税 (8%)									
消費税 (10%)									
合計 (税込み)						千円	千円	千円	
※対象経費の総額は2,000万円 (20,000千円) を超えないこと									



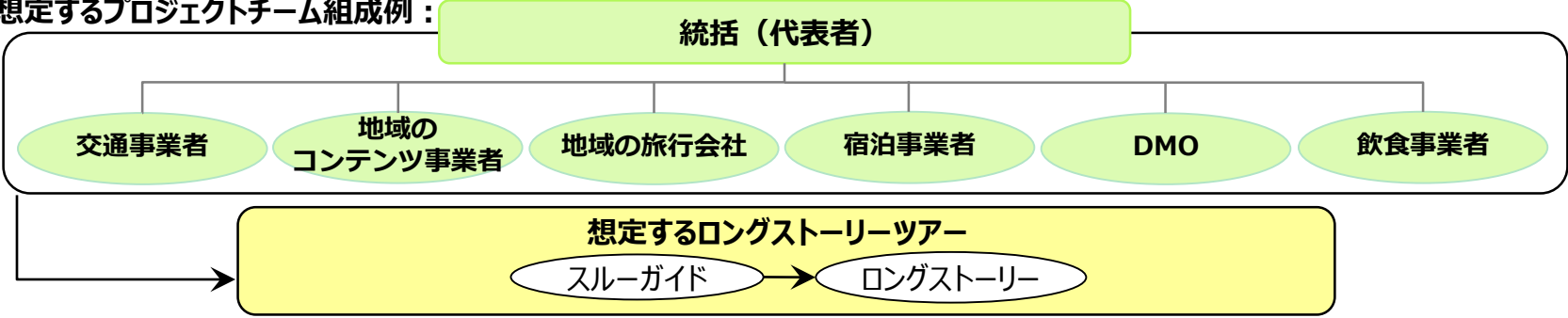
## 4. 公募要領について

# 実施体制

コンテンツ事業者、地方公共団体、DMO、飲食事業者、宿泊事業者、交通事業者、旅行会社、漁業、農業、地場産業等など、複数の団体から構成されるプロジェクトチームであること。



想定するプロジェクトチーム組成例：



# 支援の対象となる経費

## 支援対象経費

### ① ロングストーリーツアーの造成

- 体験型・滞在型コンテンツの企画開発
- ワークショップ、協議会等の開催
- 地域事業者や地域住民に対するセミナーの開催
- 専門家からの意見聴取
- ローカルガイドの育成
- 課題抽出のためのモニターツアーの開催
- 地域資源の多言語情報提供

### ② ロングストーリーツアーの販売に係る経費

- 企画開発した旅行商品等のOTA（OnlineTravelAgent）への掲載
- 企画開発した旅行商品等の販売のために行う旅行会社との商談
- 販路開拓のためのFAM（Familiarization Trip）ツアーの実施

※本実証事業において造成したロングストーリーツアーは実証事業の実施期間内に販売する事を目標とし、上記の経費を必ず含むこと。

### ③ 情報発信のための素材やツールの作成

- 企画開発した旅行商品を販売するために必要となる写真、動画、ホームページ、チラシ、パンフレット等、対外的な情報発信のための素材やツールの作成。なお、③の経費については、支援対象経費の総額の2割程度を上限とする。

### ④ 造成したロングストーリーツアーの効果の検証に必要な経費（FAMツアー、アンケート等の実施）

# 支援の対象とならない経費の具体例

## 支援対象外経費

- 本事業に直接関係のない経費
- 実証事業として選定される前に発生した経費
- 実施主体における経常的な経費（運営に係る人件費及び旅費、事務所等に係る家賃、保証金、敷金、仲介手数料、光熱水費、通信料等）
- 実施するイベントにおける景品等の購入費
- クーポンや乗車船券等の割引原資のための経費
- 会食費、弁当代等の飲食費
- マーケティング調査（市場調査、ニーズ調査等）に係る経費
- メディア等を活用した広告、インフルエンサーやメディア等の招請その他プロモーションに係る経費
- 国その他行政機関等により別途、補助金、支援金、委託費等が支給されているもの、又は、支給を予定されているものがある場合の経費
- 本事業における資金調達に必要なとなった利子等

# その他の留意事項

## 支援対象経費の規模

- 支援対象経費の上限は1件あたり2,000万円（税込）とし、選定件数や提案内容に応じて金額を決定する。

## 事業開始日

- 採択事業の決定通知より事業を開始とする。

## 事業完了に伴う精算払い

- 本事業における支払いは、事業完了に伴う事業報告書・精算書類等ご提出後の精算払いとする。

# 公募審査の観点

## 大分類

## 評価の視点

A	ターゲット設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造成するツアーがターゲットとする顧客像を具体的に定義できており、造成しているツアー内容との親和性も高く、明確なターゲット設定がなされていること</li> <li>・ 極端にニッチな顧客をターゲットとした旅行ツアーになっておらず、造成するツアーに興味を持つターゲット層が一定規模存在すると想定できること</li> </ul>
B	テーマ・ストーリー・要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行程を見て分かるような、ツアーの最初から最後までに一貫したテーマがあり、かつ設定されてテーマはターゲット顧客層にとって魅力的であると考えられること</li> <li>・ ターゲットに対して、テーマを適切な切り口で楽しむ方法（How）がコンセプトとして設定されていること設定されたテーマに基づき、コンセプトの切り口でツアーを楽しみながら、参加する旅行者に感じてもらいたいストーリーが設定されており、それらが魅力的なものとなっていること</li> </ul>
C	ツアー設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツアーの内容やターゲット顧客に対して宿泊先が魅力的なものとなっていること</li> <li>・ 全体から部分を見せていくような、適切に情報提供を行っていく行程設計となっているか。またよりコンセプトやストーリーを体現でき、より深く味わえるような設計となっていること</li> <li>・ 各行程を体験する意義や、行程が組まれている意図が明確であること</li> <li>・ ツアー行程全体を踏まえて、毎日同じ体験ばかりを行うのではなく、テーマやコンセプトには根ざしつつも、体験のバリエーションがあり、行程にメリハリがあること</li> <li>・ ツアー設計時に以下の点の配慮がなされていること               <ul style="list-style-type: none"> <li>● 価値体験向上に向けた工夫</li> <li>● 環境負荷への配慮</li> <li>● 顧客の多様性に合わせた工夫</li> <li>● 旅行者マナー向上に向けた工夫</li> <li>● 怪我や病気が生じた場合の対応</li> </ul> </li> </ul>
D	販売体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な知識と経験を有したスルーガイドの候補が具体的に選定されており、適切なガイディングがなされることが期待できること</li> <li>・ 流暢でなくとも、適切かつ簡潔な英語でツアーを案内できる状態であること</li> </ul>
E	ツアーの品質確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外市場への販売に向けた活動をしていく体制構築に向けて方向性の検討や準備ができていくこと</li> <li>・ 想定する販売チャネルに応じて、必要なパンフレットやWebサイト等に利用する情報もしくは素材が整えられる見込みがあること</li> <li>・ プロジェクトチームのメンバーが持つ販売チャネルや、外部の販売チャネルなど、販売に向けたプロモーションやチャネル開拓をどの様におこなっていくかの計画があること</li> <li>・ 十分なクオリティで楽しめる季節が一定期間以上あること</li> <li>・ 中心となる体験ができる確率が一定より高いこと</li> </ul>
F	運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切な知識と経験を有したスルーガイドの候補が具体的に選定されており、適切なガイディングがなされることが期待できること</li> <li>・ 流暢でなくとも、適切かつ簡潔な英語でツアーを案内できる状態であること</li> </ul>
G	実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との合意形成が円滑に成される体制となっており、プロジェクトチーム内で円滑な連携が成される工夫がされていること</li> <li>・ 事業終了後にも、ツアーの磨き上げや販売などを継続的に実施することができる見込みがあること</li> </ul>
H	地域貢献・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造成しようとしているツアーの実現性がある程度高いと期待ができる。</li> <li>・ 本事業全体で目指していること全体の事業遂行の確実性が高く、事業成果が期待できる。</li> </ul>

# 申請方法

全ての様式書類をご準備の上、ポータルサイトの申請ページを通じて提出・申請をお願いします。

受付  
期間

**令和5年5月17日（水）～7月7日（金） 13：00必着**

提出  
書類

**公募申請書（概要版、様式1～8）**

提出  
方法

**ポータルサイト内申請ページから提出**  
<https://longstory.jp/>  
**（令和5年5月17日（水）10:00オープン）**

<提出にあたっての留意点>

- ・様式は、ポータルサイトからダウンロードするものといたします。
- ・提出を必須としている書類のうち1つでも提出が無い場合は、審査の対象とならないのでご注意ください。
- ・提出書類は全て電子データ（パワーポイント形式およびエクセル形式）で提出してください。
- ・各提出書類の電子データのタイトルは「【ロングストーリー】プロジェクトチーム名\_ロングストーリーツアー名」をお願いします。
- ・ロングストーリーツアーの内容がイメージできるように、必要に応じて図や写真を使用して様式を作成してください。  
なお、これらの図や写真は観光庁ホームページ等で使用する可能性があるため、公表可能なものを添付してください。